



第二六四回北斗句会(令和七年五月七日)

五十音順 特選 石田きよし選

野仏に尿たれながら鳴く蛙

大崎石州

生命の息吹が聞こゆ五月かな

太田黒幸風

老害を流さぬ自戒花は葉に

大森康正

清明や森も林も笑ひをり

川崎きこう

青鷺の気迫そこだけ時を止め

竹内雲泉

散策やさつきつじの色に酔ひ

田中資凡

畑打や鰍の重みで韻を踏む

長池豆陽

葉桜や彰義隊士の影過る

藤田紀潮



ふらふらや漕ぎ手の来るをずっと待ち

石田きよし

